



帯広市立明和小学校 学校だより  
Obihiro Meiwa Elementary School

# 明和の子

平成28年12月6日

No.759

《学校教育目標》

- 明るく豊かな心を持つ子ども
- 和やかで思いやりのある子ども
- のびのびとよく考える子ども
- こんきよくがんばれる子ども

安心・信頼・充実 みんなの笑顔!!

## 全国学力・学習状況調査の結果について

平成28年4月19日に実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表され、本校の結果も届きました。

全国学力・学習状況調査は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。」「そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」「学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。」ことを目的とし、平成19年度より行われています。小学校は6学年で、国語と算数について、主に教科の知識に関するもの(A問題)と主に活用に関するもの(B問題)で調査しています。

今年度の明和小学校は、残念ながら4科目とも全道平均を下回る結果になりました。しかし、算数A、算数Bについては、昨年度より全国・全道との差を縮めています。

国語科については、A問題の「話すこと、聞くこと」「読むこと」の領域で全国・全道平均を上回り、B問題の「話すこと、聞くこと」に課題があることが明らかになりました。

算数科については、「数量関係」と「数と計算」の領域に課題があることや算数Aの正答率が低いことから、基礎的な問題の定着が不十分であることが明らかになりました。

児童質問紙からは、「学校のきまりを守っている」と感じている児童や「休みの日に1時間あるいは2時間以上勉強する」と答えた児童が全国・全道と比較すると少ないことが明らかになりました。一方、「国語の勉強が好き」「算数の勉強は大

切である」「算数の授業内容はよく分かる」などが全国を上回るなど学習意欲の高まりも、改善傾向として見られました。

以上のように良い面も多々あるのですが、課題も多くあり、基礎学力を確実に身につけさせるために、学校では、引き続き次のことを大切にして教育活動を推進します。

なお、本調査は児童の学習状況のすべてではなく、一部分を調査したものであり、成績や個人調査書などに影響するものではありませんので、ご理解願います。

### (1) 学ぶ意欲、学ぶ態度の醸成

- ① 基本的な学習態度を定着させ、学習規律の徹底させる
- ② 家庭学習、朝学習など学習習慣の定着をめざす

### (2) 基礎的基本的な知識や技能の確実な習得に向けた授業改善

- ① 繰り返し指導、反復指導等を充実させ、授業の最後には振り返りをしっかり行うなど、わかる授業づくりに努める
- ② ノート指導・作文の活用など書く活動、話し合い・発表の場の活用など言語活動の充実を図る

### (3) TTや少人数指導など指導方法を工夫改善し、基礎・基本の定着を図る

### (3) 学校と家庭の両輪としての機能強化

- ① 家庭学習習慣、読書週間の育成、定着をめざす(「家庭学習の手引き」を活用)
- ② 学校と家庭のより一層の連携

※学校のホームページにも、レーダーチャートとあわせてアップします。ご覧ください。

☆12月1日(木)、中学年の参観日でした。3年生については、給食試食会も行いました。この日も悪天候の中、たくさんの保護者の方々にお集まりいただきました。心よりお礼申し上げます。



◇12月3日(土)、あそびの宅Q便が行われました。この日は、クリスマスケーキ作りに挑戦しました。子どもたちは、ボランティアの方々の指導のもと、楽しそうにケーキ作りに取り組んでいました。



◆12月2日(金)、参観週間最終日のこの日は、低学年を対象とした参観日でした。1年生は音楽を2年生は算数を公開しました。また、1年2組は給食試食会も行いました。2年生は、親子レクとして運動会も行いました。とても楽しそうに行っていました。ご協力に感謝いたします。

